

畑一面に茂っていた雑草をあらかじめ抜いてほっと一息。自分たちが植えたスイートコーンの苗が見えてきた(今年5月末、農業食育体験ツアーにて)



# 食の流通に関わる企業の社会的責任として

社会・企業の  
食育活動の  
現場から

株式会社 平和堂 総合小売業の食育活動



農業食育体験ツアーでは、子どもたちはスイートコーンやスイカなどの、苗の植え付けから収穫までを体験する。今日は、自分の担当のところの草むしり(今年5月末)



農業食育体験ツアーの一環で滋賀県立農業大学校を訪問。トマトやキュウリ、メロン他の栽培方法などについて、温室の中に入って具体的に説明を受けた



近江八幡市の農地で滋賀県内の小学生の親子を対象にして実施している農業食育体験ツアー。この日はスイカとスイートコーンの苗を植えた(今年5月初)

## 感謝の気持ちを育むための 食育活動

「大きな大根が簡単に抜けました。うれしかった」、「みんなで作った料理がおいしかった」、「カボチャ嫌いの息子が自分から食べていました」。これは、(株)平和堂が実施した産地収穫食育体験ツアー参加者の声。「子どもたちの手放しの笑顔が、なんといつても一番の喜びですね」と、同社CS推進部の川上修さん。

平和堂は、滋賀県を中心に、近畿から北陸にかけて一〇〇店以上のスーパーマーケットを展開する企業だ。同社は、食育活動に積極的に取り組むことを宣言しており、CSRの一環として全社的に取り組んでいる。それは、「食の流通に関わる企業として、生産者に感謝し、食を通じてお客様の健康を応援したい」からだという。

同社の食育活動の柱は、「小学校が行う食育活動の支援」、「食に関する情報提供」、「地産地消」、「伝統食文化の啓発」の四つ。「小学校が行う食育活動の支援」活動の中の「ファイブ・ア・デイ」活動は、健康を維持するために、一日に五皿以上の野菜(二五〇g)と果物二〇〇g以上を食べよう」というもの。

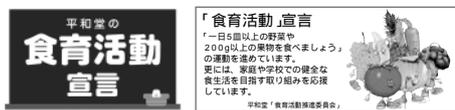
「ファイブ・ア・デイスーパーマーケット食育体験ツアー」では、滋賀県内の小学生を店舗に迎えて、正しい食生活のあり方や野菜・果物摂取の大切さを知ってもら



木になっているミカンを収穫したり、大根を土から抜いたり、初めての体験に歓声が起こる。産地収穫食育体験ツアーには、店頭で応募した方が毎回大勢参加



「野菜や果物がどのように育てられているのかが実感してもらいたい」というのが活動の趣旨。そのねらいの通り、「これからは、農家の人たちのことを思いながら、味わって食べます」など、参加者の感想文には、お礼や感動の言葉が並ぶ



「ファイブ・ア・デイ」活動は、ファイブ・ア・デイ協会が推進する食育体験学習。平和堂(株)は当初からの活動に積極的に取り組んでいる

### 株式会社 平和堂

〒522-8511 彦根市小泉町31番地  
TEL.0749-23-4748  
<http://www.heiwado.jp/syokuiku/>



各店舗の青果担当者がインストラクターとなり、近隣の小学生を迎えて食育活動を実施するファイブ・ア・デイスーパーマーケット食育体験ツアー



ファイブ・ア・デイスーパーマーケット食育体験ツアーに参加した子どもたちは、栄養バランスの良い食事の重要性を楽しみながら学んでいく

う活動を実施。「ファイブ・ア・デイ産地収穫食育体験ツアー」には、小学生の親子を招待し、産地の生産者の協力を受け、野菜や果物の収穫体験活動などを行っている。

「私たちは、衣食住のすべてに関し、作る人、運ぶ人、販売する人など、大勢の恩恵を受けており、そうしたことを、子どもや保護者の方、地域社会の方々に伝えていきたい」というのがこの活動の趣旨だ。

「食に関する情報提供」活動では、「栄養バランスのとれた食生活の大切さ」や「家庭の食事を楽しもう」というテーマで、親子料理教室や食事マナー教室などを毎月開催。親子料理教室では、併せて食事バランスガイドの解説をし、食事マナー教室では、ホテルマンからマナーの説明を受けながら料理を楽しむという試み。このほか、昨年は、おじいちゃん・おばあちゃんと作る料理教室」を実施した。

最近では、平成一八年からはじめた農業食育体験ツアーに力を入れている。これは、近江八幡市の農地で、スイートコーンやスイカなどの苗の植え付けから、草取り、収穫までを体験するもので、滋賀県内の小学生の親子が参加している。

店頭でも、地域の野菜を扱うコーナーを以前から設けており、また毎月一度程度管理栄養士による栄養相談も店舗で実施している。「食育」の可能性は、まだまだ大きな広がりをもっているようだ。

(文責・CEL編集室)

CEL